

《株式会社エフエム東京 第416回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成 27 年 3 月 3 日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数6名(社外6名 社内 0 名)

◇出席委員(5名)

横 森 美 奈 子 委員長	香 山 リ カ 委員
内 館 牧 子 委員	秋 元 康 委員
西 田 善 太 委員	

◇欠席委員(1名)

渡 辺 貞 夫 委員

◇社側出席者(9名)

富木田 代表取締役会長  
千 代 代表取締役社長  
唐 島 専務取締役  
石 井 常務取締役  
山 科 常勤監査役  
村 上 執行役員 編成制作局長  
延 江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー  
宮 野 編成制作局 編成制作部長  
松任谷 編成制作局 番組プロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(2名)

平 常務取締役  
藤 取締役 マルチメディア放送事業本部長

【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約 20 分)

「アポロン★」

2015 年 2 月 18 日(水) 13:00～14:55 放送

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■3月11日（水）LOVE&HOPE 特別番組を編成

TOKYO FM では、東日本大震災以降、毎年3月11日に特別番組を編成しておりますが、今年も特別番組を編成いたします。

当日 16:00～16:55 には、「LOVE&HOPE special～その声を語り継ぐために～」を全国 38 局フルネット（一部時間違い）で放送いたします。東北3局（FM 仙台、FM 岩手、ふくしま FM）と、FM 新潟、Kiss FM KOBE の計5局の系列局と連携し、過去に起きた震災の経験から、「沿岸部」「山間部」「都市部」という地形ごとの災害への備えについて、各局のパーソナリティの経験談から、語り継ぐべき知恵を共有する内容です。

また、当日 13:00～15:40 には、東京ローカルで特別番組「LOVE&HOPE～4年目の春だより～明日へつなぐ言葉」を特別編成し、生放送いたします。レギュラー番組「LOVE&HOPE」が追い続けてきた、東北の人々の姿、震災から4年を迎える今の想い、彼らが未来への力とする言葉を集めます。震災発生時刻の 14:46 には、チェリスト 溝口肇さんによる鎮魂の祈りを込めた生演奏を予定しています。全体の進行は、作家の平野啓一郎さんが務めます。

ヒューマンコンシャスの理念を基盤とした、被災された方々に寄り添う報道編成は今後も継続して取り組んでまいります。

■SCHOOL OF LOCK!の新しい 10 代音楽フェス「未確認フェスティバル」

TOKYO FM「SCHOOL OF LOCK!」では、2008 年より 10 代限定の音楽フェス「閃光ライオット」を開催し、多くのメジャーアーティストを輩出してまいりました。2015 年度からは、新たに、「タワーレコード」「NTTドコモ」「レコチョク」が展開する「Eggs プロジェクト」をパートナーに迎え、新企画「未確認フェスティバル」として、再始動いたします。



応募資格は 10 代であることのみ。自由に演奏したデモ音源の応募を3月16日（月）より、受け付け、リスナーによる WEB 審査、審査員による2次審査を経て、8月下旬にファイナルステージとなる「未確認フェスティバル」を開催予定です。

■当社出資映画について

去る2月27日（金）、第38回日本アカデミー賞授賞式が行われ、当社出資作品「永遠の0」が8部門において、最優秀賞を受賞いたしました。

●「永遠の0」優秀賞 11 部門受賞

(作品、監督、脚本、主演男優、助演男優、音楽、撮影、照明、美術、録音、編集)  
⇒うち美術賞、撮影賞、照明賞、録音賞、編集賞、主演男優賞、監督賞、作品賞  
8 部門で最優秀賞を受賞

その他の出資作品につきましても以下の通り受賞しました。

●「小さいうち」優秀賞 9 部門受賞

(作品、脚本、助演女優、音楽、撮影、照明、美術、録音、編集)  
⇒最優秀助演女優賞を受賞 (黒木華)

●「ふしぎな岬の物語」優秀賞 13 部門受賞

(作品、監督、脚本、主演男優、主演女優、助演男優、助演女優、音楽、撮影、照明、美術)

今後も、配給各社との連携を深化させ、質の高い文化的作品、社会的話題作には積極的に出資参画して、当社のプレゼンスの向上に努めます。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見 / 「■」社側説明)

○閃光ライオットから、輩出されたアーティストは、例えばどんな人か？

■初代のグランプリは、Galileo Galilei というバンドで、今は活動休止中だが、SonyMusic からデビューし、非常に人気を集めた。最近では、ガールズバンド「ねごと」や、ソロシンガーの片平里菜さんが、メジャーレーベルで活躍している。リスナーも巻き込んだ形の純粋なオーディション形式でやっている。

**議題2: 番組試聴 (約20分)**

【番組名】 『アポロン』 パーソナリティ: 齋藤美絵

【放送日時】 2015年2月18日(水) 13:00～14:55 放送

**【番組概要】**

本日試聴いただくのは、毎週月曜日から木曜日のデイトタイムに放送しているワイドプログラム「アポロン」です。本番組では2月16日から1週間、「きいてみたらこうだった!～TOKYO 街角リアルヒットソング」と銘打ち、東京の街で聞いたリクエスト曲を生の声と共に届ける音楽企画を毎日二つのテーマを設け演出しました。

2月16日(月)『20代女子にきいた Over40 が歌ってカッコイイと思う同世代のヒット曲』

『20代ビジネスマンにきいた彼女に歌ってほしい曲』

2月17日(火)『20代にきいた 20周年 Over のアーティスト初期の名曲』

『20代女子にきいた彼氏に歌ってほしい名曲』

2月18日(水)『10代・20代にきいた年上の人にプレゼントしたい曲』

『10代・20代にきいた先輩が歌うまで実は知らなかった大ヒット名曲』

2月19日(木)『Over30 にきいた 10代にも聴いてほしい名曲』『20代にきいた泣ける名曲』

売り上げやデータだけではない街ゆく人それぞれの音楽への思い入れを探ることに  
より、より世代間を超えて楽しむ音楽を届けたいという意図で企画いたしました。

また、同番組では、昨年10月より、毎日2時の時報明けに音楽企画コーナー「アポロン妄想ソング～ねえ、あいみみしようよ。」を放送しています。男女が1つのイヤホン  
を2人で分けあって、一緒に音楽を聴くことを「あいみみ」と名付け、女性たちにとって胸  
がときめく季節ごとの妄想シチュエーションとともに素敵な男性と聴きたい「あいみみソ  
ング」をお届けしています。妄想ドラマには今人気急上昇中の俳優・アーティスト・タレ  
ントが毎日日替わりで登場しています。本企画は主に若い世代の女性に Twitter など  
で拡散され、昨年10月から数回にわたり Twitter のつぶやきランキング 1位を獲得し  
ました。この番組発の現象は他メディアからも大きな関心が寄せられ、雑誌「JUNON」と  
のタイアップ(別紙)、また本年6月には中学生をターゲットとした漫画雑誌  
「SHO-COMI(150万部)」で「あいみみ」を主題とした人気漫画家による5話連続の書下  
ろし連載を予定しております。

**【過去のオンエアより、妄想シチュエーション例】**

山下智久が女の子を後ろから抱きしめながら聴きたいあいみみソング

登坂広臣が一晚過ごした女の子と朝を迎えた時に聴きたいあいみみソング

キスマイ北山宏光が落ち込んでいる年上の女性を慰めるとき一緒に聴きたいあいみみソング …など

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○アポロン自体のリスナー層はどこを狙っているのか？

■メインはM1F1層だが、特にアポロンは、女性を意識している。

○リクエストで曲を流すことを、ここまでの演出を込みにしていくと面白いと思った。聴いていて違和感もなく、楽しく聴けた。

「あいみみ」自体は、いつもこのぐらいの長さなのか？

■今回の木村拓哉さんは少し短めだったが、だいたい1分程度でシチュエーションを演出することが多い。

○出演者本人が自分で聴きたいと言った曲と一緒に聴いている感覚、というのは面白い。自分の父親への感謝を込めたエピソードのついたリクエストも良かった。

原始的な話だが、曲には、あのラジオを聴いてなかったら、出会ってなかったなというものは多い。ラジオにはセレンディピティがあるので、曲一つ一つに人の思い入れがあることを単純に見せていくのが良いなと思った。

○微笑ましく楽しく聴いた。音楽は、楽しく軽く聴くというのものもあるし、311の時に「アンパンマンのマーチ」に励まされたように、ただ気分が良くなるだけでなく、個人個人の深い記憶と結びついている。そういう意味で、今回の企画も個人の想いととも曲を聞くことで、もちろん作業中に楽しく聞き流すこともできるし、意外に深い。聴いている人のいろんな想いを刺激するような効果もある企画だと思った。

○すごく面白かった。テーマの切り口が新しく、面白い。この「あいみみ」のような企画は、とにかくロマンチックに徹するのが良いと思う。今、「草食系」を超えて「絶食系」の若者が増えていると言われるが、絶食系でも本当は、ガールフレンドは欲しいと思う。素敵なタレントさんと呼んで、ロマンチックに徹する時間を作るのは面白いと思った。時々テーマを逆に、「20代ビジネスマンに聞いた、課長が歌ったら痛い曲」なども良いのではないかと。みんなでカラオケ行くと、実際に一生懸命後輩に好かれようと若ぶって、痛い感じで歌っている人がいるものだ。ちょっと別の世代を巻き込むやり方はとても良いと思う。

○すんなり聴けたが、企画には無理がある。「きいてみたらこうだった」は、意外性を期待してしまうが、結局「Dragon Night」で、市場と我々の感覚に差がない。

昔は、業界の方が情報が早く、面白いことを仕掛ける側にいたが、今は一般の人も変

わらないので、そこに差異がない分、意外性がない。「きいてみたらこうだった」というわりには新しい発見がない。

昔は街の声に意外性の効果があったが、今は、面白さがなくなってしまった。それがもったいない。音楽の意外性で唯一残っているのは、カラオケに行ったときに人は何を歌うのか？という点だ。なんでこの人はこの曲を歌うんだろう？と思うことがある。

せっかく企画をやるなら、そこらのヒット曲を並べている番組とは一線を画し、ここで、何十年ぶりにこの曲が流れましたよ、といったように曲は意外性がないと面白くない。番組が主になって、年配の方にぜひ今、聴いてほしい曲として backnumber やセカオワを流すなら良い情報だと思うし、若い人にとっては、もう何年も流れていないと思うが、私はもともとの「サルビアの花」が好きだし、マイ・ペースの「東京」を聴くとなぜか涙が出てくる。そういったおじさんの思い入れを、世代を超えて曲で共有できたら面白いし、また聞きたくなるかもしれない。データや、街の声はみんな基本的には同じだ。

例えば、「10年後に残したい曲」という企画でリクエストを集めたとしても、結局そのときにヒットしている曲しか出てこない。なぜなら、今、人が思い入れを持っているのが、今の曲だからだ。「今の声を聴く」ということの難しさを選択するなら、もっとスタッフの想いをこめて、年配の人が聴かない今のいい曲、若い人が聴かない昔のいい曲を提案する、また、食わず嫌いの人のために、洋楽、クラシックなど、普段聴かない人にもこんないい曲がありますよ、という出し方の方が面白い番組になると思う。

また、「あいみみ」を流行らせたいのは分かるが、全面的に流行らせたいのが見えて、恥ずかしい。もう少しさりげなくやるか、コマーシャルか映画などでポンと出すぐらいのものではないか。すでに「あいみみ」という現象があって、それを照れくさそうに番組として取り上げているぐらいの方が拡がると思う。

また、「いよいよキムタク降臨！」というのがダサい。こういうスターが普通に出てきてくれる番組だと思われた方が良い。いかにもレーティングという大騒ぎ感がカッコ悪い。普通に一流の人がレギュラー番組をやっているんだから、もうちょっとさりげないのがTFM のカッコよさだと思う。

○大変和んで楽しく聴いた。今回かかったのは、耳慣れているヒット曲ばかりだったので、もっと洋楽やマニアックな方向性も、と考えたが、それはこの時間帯ではないだろうとも思った。それは日曜日の午後とか、音楽を尾ひれをつけて聞きたいような時間の方が適しているとも思った。

ヒットソングをただかけるよりも、その人の思い入れが伝わると、聴こえ方は違うものだなと素直に思った。世代を超えて、ヒットソングをコミュニケーションツールとして使っている発想は面白いと思った。木村さんが小田和正さんを選んだのは意外性があった。

■毎回、「あいみみ」の出演者には、ご自身以外のアーティストの曲を選んでいただいている。

○「あいみみ」は、実際にイヤホンで聴くかは別として、聴いている距離が縮まった感覚があり、面白かった。

○ラジオの生放送は、その時間帯に聴くことのできる人でターゲットとなる人をもっと意識して、トークに反映した方がいい。深夜番組には深夜ならではのトーク表現があるように、生放送部分で、午後1～3時の気分フィットするトークが必要だ。

■あいみみを流行らせたいと思ったが、なかなか難しいというのがわかった。

○やる人はいると思うが、「どうですか！」と言われてしまうと、スピーカーで普通に聴けばいいところを、恥ずかしいというのはあると思う。ペアルックがまた流行りだしたように、ラブラブな中高生のごく一部はやるかもしれない。

○昔はドライブデート中に、自分の選んだ曲を聞かせたいと思ってテープを作ったものだが、今、若い人は車に乗らないから、一緒に聴くには、「あいみみ」をやるしかないのかもしれない。

■たまに電車の中で二人で聴いているのを見て、思いついた。物理的に距離が縮まる感じがいいと思った。

○ステレオだから、本当は分け合うと聞きづらい。「あいみみ」用のイヤホンを開発するのはいいかもしれない。

○やってみたい！と憧れる人はいると思う。

## 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

## 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送: 番組「SPO☆LOVE」  
3月28日(土)5:00～7:00放送
- ② 書面: TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット: TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

## 7. その他

<第 416 回放送番組審議会 議事録>

次回の放送番組審議会を、4月7日(火)に開催することを決めた。

以上